

<p>第6期横浜市子ども・子育て会議 第3回保育・教育部会  第34期横浜市児童福祉審議会 第3回保育部会 合同部会 公開議事会議録</p>		
日 時	令和5年6月5日(月) 18時00分～21時10分	
開催場所	市役所18階 みなと6・7会議室	
出席者	石井部会長、山瀬副部会長、倉根委員、清水委員、天明委員、森委員、尾木委員、大澤委員、斉田委員、大庭委員	
欠席者	なし	
開催形態	公開(一部非公開)	
議 題	<p>報告&lt;公開案件&gt;</p> <p>【子ども・子育て会議】</p> <p>(1) 令和5年4月1日現在の保育所等利用待機児童数について</p> <p>(2) 第3期横浜市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査概要について</p> <p>【児童福祉審議会】</p> <p>(3) 令和6年4月入所に向けた利用調整基準の一部改正について</p> <p>議事&lt;非公開案件&gt;</p> <p>【児童福祉審議会】</p> <p>(4) 内装整備費補助に伴う保育所の認可及び補助金交付先法人の審査について</p> <p>(5) 小規模保育事業の認可及び改修費補助金交付先法人の審査について</p>	
議 事	<p>(1) 令和5年4月1日現在の保育所等利用待機児童数について</p> <p>石井部会長            まず報告(1) 令和5年4月1日現在の保育所等利用待機児童数について事務局から御説明をお願いいたします。</p> <p>事務局                資料に沿って説明。</p> <p>石井部会長            それでは、ただいまの事務局の説明について質問や意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>斉田委員               保留児童対策タスクフォースによるデータ分析結果に基づいて色々な取組がされているということですが、具体的にデータ分析結果でどういったことが分かって、それに基づいてどういう取組をしていくのかというのを少し具体的に教えていただけるとありがたいです。</p> <p>事務局                ありがとうございます。ポイントとしましては全部で4点ございます。1点目は、先ほど御説明したとおり1、2歳児の受入れ枠確保です。データ分析の結果、保留児童の7割を1、2歳児が占めており、また、平均の希望園数につきましても1、2歳児が多く、幼稚園を選択できる4、5歳児が逆に少ないというような状況になっております。このような分析結果等に基づきまして、やはり1、2歳児の受入れ枠確保を重点的に行っていくというものでございます。</p> <p>                             2点目が一時保育等の拡充です。短時間就労や求職など、いわゆる</p>	

		<p>入所のランクが低い方が保留児童の約4割を占めております。このうちの約半分が求職者であるということを踏まえ、一時保育で対応できる方もたくさんいらっしゃるだろうということで、一時保育等の拡充に努めるというものでございます。</p> <p>3点目が障害児・医療的ケア児の対応です。障害児・医療的ケア児のお子さんにつきましては、駅から遠い場所に居住する方や、きょうだい既に在園の方などについて申請園数自体が少なくなるといったような傾向もあります。また、昨年度の待機児童数は11人だったのですが、その11人のうち4人を障害児・医療的ケア児の方が占めるという状況でした。このように、ほかの要因に比べて待機児童になる割合が高かったため、障害児・医療的ケア児の対応にポイントを置いた対策となります。</p> <p>4点目が、選択肢を増やすための情報発信及び保育の質の向上になります。保留児童になった方の申請園数が、入所の決定をされた方よりも単願の割合が多いという結果が出ております。また、2歳児以下の方で、通える範囲内に小規模保育事業があるけれども、認可保育所のみを希望された方も多くいらっしゃったということがあります。このことを踏まえ、選択肢を増やすための取組についても強化しながら取り組んでまいります。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>4点目の選択肢を増やすための情報発信というのは、具体的に保護者にどのように示していただけるのでしょうか。</p> <p>ぱっと見でどこに何があるのか分かりづらいとか、それぞれの園の魅力が十分に発信できていない等の課題がありましたので、今回の取組にもありますとおり、園の魅力が十分発信できるようなサイトを作り保護者の方に発信していきたいと考えております。</p> <p>そのサイトは、障害児の受入れの枠なども載るのでしょうか。</p> <p>将来的にはそのようなことも考えていきたいですが、まずは園の魅力を発信するというので、どういうことを各園が行っているのかを重点的に載せていきたいと考えております。</p> <p>先ほど、待機児童11人のうち障害児・医ケア児が4人を占めるというお話をお伺いしましたが、うちの会でも、保育園を利用したい場合に、区役所に行くと各園にお問合せくださいと言われ、各園にお問合せをすると、入園を決めるのは市だという回答をされるというお話がありました。どの園が受け入れてくれるのかが分からないまま探して、なおかつ家から通える範囲でというのを考えたときに、この情報発信というところがすごく大事だと思います。普通の方ももちろん保育園探しは大変だと思いますが、障害があるということでさらに大変な部</p>
	齊田委員	
	森委員	
	事務局	
	森委員	
	事務局	
	森委員	

	事務局	<p>分があることが会の中からも意見が出ておりますので、その辺のところを考慮していただきたいと思っております。</p> <p>御意見ありがとうございます。まずは全体の中で、魅力的なものをつくっていくことに力を入れていきたいと思っておりますけれども、御意見があったとおりに、障害をお持ちの方につきましては園探しという部分でもやはり苦勞する部分があると聞いておりますので、そういったところについてもしっかりと対応していきたいと考えております。</p>
	森委員	<p>保育園でも幼稚園でも変わりませんが、今まで障害児を受け入れていたとしても、今後も受け入れられるかどうかというのは、保育士や幼稚園教諭の確保の部分でかなり違ってきます。昨年度入れたから今年も入れるというわけではなく、先輩が入っているからここに行ってみれば大丈夫だよねということが必ずしもそうではないので、保護者はとても混乱します。そういった情報もきちんと示していただけるような形にしていきたいと思います。</p>
	事務局 天明委員	<p>御意見をいただきましたので、検討したいと思います。</p> <p>ネットでの情報発信について言っていただきましたが、私は保育コンシェルジュにとっても期待しています。個別対応を丁寧にしてくださっているのかなと思ったのですが、待機になってしまった方のなかで単願が多い等、現状とすれ違い過ぎているように私としては思いました。入所の際に、保育コンシェルジュとコンタクトがあるのかどうかについてのリサーチはありますか。</p>
	事務局	<p>保育園の入所では、最初に一次申請をしてもらい入所調整を行うわけですが、そのときのタイミングで保育コンシェルジュにつながっているかどうかというのはまちまちになります。一次申請の段階で調整を行っていわゆる保留になった方につきましては、コンシェルジュが全件連絡を取り、その御家庭の状況についても把握させていただいたうえで、こういったような形であれば入所できるよといった助言やアドバイスを行っている状況です。</p>
	天明委員	<p>では、保育コンシェルジュが助言をしているのにもかかわらず保護者のニーズが変わらないというような捉え方で良いですか。</p>
	事務局	<p>単願の方も様々な背景を抱えている方がたくさんいらっしゃいますので、一概にそうとは言いきれない部分もあるかもしれません。近くの園で入れる、あるいはこの部分であれば申込みができるのではないかとといった助言をする中で、結果的に二次申請の段階で園数を増やして申し込む方もいらっしゃいますが、御家庭の状況の中で、例えばきょうだいが入っているからとか、あるいは、この保育のやり方が私は好きだから、あるいはこのグループの園でないと嫌だといったような</p>

	<p>天明委員</p> <p>事務局</p> <p>石井部会長</p> <p>天明委員</p> <p>石井部会長 天明委員 事務局</p> <p>石井部会長 大庭委員</p>	<p>方も中にはいらっしゃいますので、そういったところも含めてよく聞き取って、適切なアドバイスに繋げていきたいと考えております。</p> <p>送迎支援や駐車場助成など市は大胆に踏み込んだ対策をしていると思いますが、保護者のニーズとかみ合っていないように感じます。かなりの税金をつぎ込んでいるにもかかわらず、ニーズとマッチしないというところがすごくもどかしく感じます。待機児童数の結果を聞いて、数字で10とか11とかと言われることにすごく抵抗感がある気がしてしまうので、別のやり方で現状を伝える方法があると良いと思います。</p> <p>ありがとうございます。昨年、保留児童対策タスクフォースという形でデータ分析を行いました。今年度も引き続き、保留の方の状況についてデータ分析を行っていきたくて思っております。そういったデータ分析を行う中で、今委員に御指摘いただいたようなすれ違いといった、いわゆるミスマッチにつきましてもきちっと分析をして、次年度の対策に繋げていきたいと考えております。</p> <p>コンシェルジュがいいのか、子育て世代包括支援センターなのかというのは、天明委員は両方の意味合いでおっしゃったのですか。それとも、コンシェルジュに特化してという話でしょうか。</p> <p>様々な相談先があるのは良いと思いますが、確実な情報を持っているのはコンシェルジュかなと思っています。</p> <p>でも、相談するかしないかは、コンシェルジュは多分任意でしょう。さっきは全員にと言っていないでしたか。</p> <p>まず相談するという部分では、部会長のお話のとおり任意で御相談にきていただく形になりますが、一方で保留になった方につきましては、必ず電話等でコンシェルジュがお話をさせていただくような仕組みになっております。</p> <p>了解しました。ありがとうございます。</p> <p>数字をいろいろな角度から分析しないといけないと思います。待機児童が10人というのは、ほぼ正常な状態だと思いますが、そこで1歳が7人いるから7割という言い方はちょっと異常な表現かなとも思います。また、単願する人には全然違う理由等があります。入れなくても困らない、園を選べるという立場の方でないと、保育所に単願するというのはなかなかできません。そういった方まであまり酌みし過ぎますと、障害のある方など、本来もっと手を差し伸べなければいけないところに視点が行かなくなってしまうという危うさがあると思います。</p> <p>それと同時に、定員割れの問題や、10月1日の待機児童数は0歳が一番多いという事実などもまだ語られていません。1年を通して待機</p>
--	---	--

	<p>事務局</p> <p>石井部会長</p> <p>事務局</p> <p>石井部会長</p>	<p>児童を少なくしていかなければいけません。ついこの間、岸田首相が誰でも通園制度を掲げていましたが、それを想定すると0歳を減らすというのは確実に危険です。誰でも入れるのであれば、やはり育児ノイローゼ、その他いろんなことで悩まれる方を救える良いチャンスですので、0歳児を減らして1歳児をやるという今までの古い考えでは待機児童はなくならないと思っています。</p> <p>なので、定員割れや、3歳、4歳、5歳がなぜこんなに減っているのかの理由を説明していただければもう少し議論ができますが、今のこの資料だけですと、少なくとも実情解明にまで至らないと思います。全体枠、一番シビアな定員割れ、それから誰でも入れる保育園という流れになってきたときに、現場としてはうれしい悲鳴になるのか、それとも完全にそんなことは無理なのか、蓋を開けてみないと分からないので、もうちょっと情報が欲しいです。保留児童がこんなにいるのになぜ待機児童が10人なのかという点が、まだ理解できていないので、その辺ももう少し深く、この資料を出すのであれば全体像、横浜市の実情が全て見られるような数字をもう少し出していただきたいなと思います。</p> <p>御意見をありがとうございます。定員外、あるいは定員割れの状況については、別紙2の2ページ目の(3)でお示ししております。あと、3、4、5歳の部分で新規申請者数が減少している状況がありますが、確かにこの資料だけだと分かりづらいという御指摘はごもっともかと思えます。今後、保留児の分析も行いますので、その中でまたお示ししたいをと考えております。</p> <p>数年前は待機児が0人で、保留児童が3000人台で推移していたから保留児童は半分ぐらいに減ったように見えるのではないのでしょうか。</p> <p>保留児童については、先ほどの別紙2の7ページに経年の推移を掲載させていただいております。確かに一時期、保留児童につきましても減少した時期がありますが、このところは増加傾向にあります。ただ、保留児童の中でも、育児休業延長を希望する方もそれなりにいらっしゃいますので、一概的に数字をお示するのは難しいですが、推移としてはこのような推移をたどっています。</p> <p>ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。大丈夫でしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜一同了承＞</p>
議 事	<p>(2) 第3期横浜市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査概要について</p> <p>石井部会長</p>	<p>議題(2) 第3期横浜市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査概要について、事務局から説明をお願いいたします。</p>

	事務局 石井部会長	資料に沿って説明。 ありがとうございます。それでは、ただいまの事務局の説明について質問や意見がございましたらお願いいたします。
	森委員	今のスリム化のところですけども、ほかのアンケートに移る部分というのも今年度中にアンケートが実施されるということでしょうか。
	事務局	今年度か来年度、少なくとも計画に反映をできるようなタイミングでの実施になります。
	森委員	通所支援事業のほうから配られるのではなくて、そこに通っている方に無作為に送られるということですか。
	事務局	そのあたりの詳細や規模感、配布の方法等も検討かと思いますが、今回のニーズ調査では、必要だけでも使っていない人を把握するところまでとさせていただき、使っている方に今後どういったものがより必要なのかといったところを深めて聞く調査を、別で利用しているところにお伺いしたいと考えています。
	森委員	分かりました。ありがとうございます。
	尾木委員	スリム化は大賛成です。いつも結果を見せていただきますが、ものすごく厚い調査報告書なので、見る方もとても大変です。それでも、回収率が45%もあったというのは本当に関心が高いし、自分事と捉えて答えてくださっているので、スリム化することによってもっと回収率が上がることが期待できるのではないかと思います。よろしく願いします。
	山瀬委員	これまでニーズ調査で聞いていた項目を他のアンケートで代替する場合、代替しようと思っていた項目が他のアンケート側の検討過程で無くなるなどは大丈夫でしょうか。
	事務局	検討の視点の①のとおり、計画策定に必要な設問は漏らさないようにと考えておりますが、逆にほとんど使えていないような設問については、代替という形よりは削除をしていくというものもあるかと考えています。全く同じではないかもしれませんが、利用者の方がよりよい支援につながっていくための視点は、できるだけ落とさないように他の調査でカバーをしていきたいと考えています。
	山瀬委員	ありがとうございます。
	石井部会長	ほかにかがでしょうか。よろしいでしょうか。 ＜一同了承＞
議 事	(3) 令和6年4月入所に向けた利用調整基準の一部改正について	
	石井部会長	報告(3) 令和6年4月入所に向けた利用調整基準の一部改正について事務局から説明をお願いいたします。

事務局 石井部会長		資料に沿って説明。
	天明委員	ありがとうございます。それでは、ただいまの事務局の説明について意見や質問がございましたらお願いいたします。
	天明委員	きょうだい児のところは良いなと思っています。お金をつぎ込んで箱はつくっても、やっぱり人がいないと受け入れられないというそのニーズはよく分かります。ただ、今の市の状況と逆行して申し訳ないのですが、子どもを生み育てるときの考え方というのが、ランクが2つも3つも変わって、どんどん働いてという方に、保育士さんの人生の選択が押し流されるところに多少の違和感を覚えます。
	大庭委員	その人が自分の子を見たいと思っても、とにかく社会のほうに行ってください、という感じにならないかが気になります。今保育士の確保が本当に大変というのは分かりますが、これがいつまでも続くというほうが異常ではないでしょうか。保育士だとランクが上がり、保育士の子どもはみんな保育所みたいな流れというのもどうなのかと思うので、何年間かして状況を見て変えるかもしれない等の一文とかがあるといいかなと思います。
	大庭委員	私の側からすると、先生が少ないので保育士さんを優先していただきたいとやっぱり思いますね。いないともう何も始まらないので。そのところはちょっと御容赦いただきたいです。
	石井部会長	みんなが横浜市に保育をしにくるので、近隣自治体から恨まれそうな感じがしますね。
	大庭委員	そうですね、先生がいないことにはもうどうしようもなくて。
	石井部会長	周りが空洞化するのではないかと。
	天明委員	そうですね。でも、そのぐらいの迫力があるものだというのは重々承知しております。
	事務局	ありがとうございます。保育士の配置基準が緩和されるとか、誰でも通園制度みたいな形で、一時保育が拡充していくという国の流れもありますので、各都市とも保育士確保がより一層大変になることが見込まれます。そういったことも踏まえて都市間競争に勝たなければというところもあり、今回強く打ち出すような形の改正としています。この基準に関しては、その時々で状況やニーズを見ながら細かく改正を行っておりますので、今回このようにさせていただいた後でもまた状況を見て随時変更することもあるかと思えます。
	大庭委員	あともう一つ懸念しているのは内定者の優先入所です。あまりにもひどい人材派遣会社が多いのですが、お祝い金とかを出して就職させたあと、5日間も来ないで、しばらくしたら病欠でやめるという事例が色々な園で報告されています。そうなる、働いた実績があつて優先されるというのが私はとても良いと思います。業者と組んで内定を

	事務局	<p>もらい、保育所が決まったら働きませんというようなことにならないようにしたいなと思いますね。</p> <p>こちらの保育士ランクを使って申し込まれる方に関しては、書類を追加で出していただくというようなことも考えております。また、1年に1回、現況届とってお勤めの状況とか家庭状況の変化がないかを全利用者にお伺いするタイミングがありますので、その際のやり方なども今後検討していきたいと考えております。</p>
	石井部会長	<p>今大庭委員がおっしゃったことというのは、内定が決まって入所が決まったあと、勤めないに等しいぐらいの勤務で辞めてしまったりしても、1年後の現況届、現況調査は数か月後とかだから、残ってしまうということなのでしょうか。</p>
	大庭委員	<p>残りますね。もうほとんど専門にそういうことをやられているのではないかというぐらい上手です。だから、そういう方は次から次へと新しい保育園に行くのですが、お祝い金ばかりもらっているという。</p>
	石井部会長	<p>そういうのも早めにつかめたら良いと思います。ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">&lt;意見なし&gt;</p>